



発行

2014年4月1日 第97号

社会福祉法人 名古屋キリスト教社会館
 発行人／池田巍義
 編集人／湧井規子
 〒457-0805
 名古屋市中南区三吉町6丁目17番地
 TEL／052-612-3370 (本部)
 FAX／052-611-9085
 URL／http://shakaikan.com
 E-mail／honbu@shakaikan.com

「信仰と、希望と、愛、この3つはいつまでも残る。」

その中で最も大いなるものは、愛である」(コリントの信徒への手紙Ⅰ13章13節)

子どもたちは「ケンカ」をする。怒りが抑えられない子ども「ケンカ」は、大人も怒りたくなるような激しさだ。そういう場面でも、子どもたちはちゃんと「仲直りができる」から立派だ。互いの気持ちを理解し「折り合いをつける」ことができるから不思議だ。ただし、そこに怒る子どもの言い分を聴くという大人の役割が必要だ。聴いてみると、なるほどと思える理由がある。大人が「わかった」と共感を表すと、子どもの怒りは収まる。そのあとであれば、相手の痛さや怒りも了解できる。どうしたらいいかが分かる。「痛いことをしてごめんなさい」と仲直りができる。その時子どもの表情はさわやかだ。優しい子どもになっている。

東日本震災・原発事故から三年。市場原理・成果主義に翻弄されて基本的人権という「いのち」を支える豊かさを奪われ、傷つき希望を失いあえぐ人々が増える日本社会において、持続発展可能な社会をめざして私たち社会福祉法人の役割は明確だ。「人間は道徳的存在である」という人類史の事実と、基本的人権の保障、武力の行使を放棄する(第九条)という「平和観」を宣言した「日本国憲法」を基軸として働くことである。これは、私たちのエネルギー源であり、希望である。

専務理事 湧井 規子

日本国憲法に希望を託す

折しもこの六月、千種区に当法人が担う「東部地域療育センター」が大勢の方からご支援を受けて完成することは意義深い。幼い子どもたちの基本的人権を保障する「療育」の充実のために、私達も多年にわたる努力を継続したい。

折り合いをつける子ども

子どもを「人間としてみる」ということ。という本の中で、佐伯胖氏(東京大学名誉教授)は次のように述べている。
 「七万年以上前の話。人類の多くの祖先は地球の寒冷期により絶滅したが、現在の人間の祖先ホモ・サピエンスだけが残っていた。その理由は、飢餓寸前の人たちが、見知らぬ遠方の、やはり飢餓寸前の他者と食物や石器を分け合っていたからだ」という事実が研究から判明。ということは、家族や同族同士との親密性や同情心で説明できるものではない。明らかに「そうすべきだ」という道徳的判断によるとしか私には考えられない。これが私達を「人間」とらしめてくれたと言える。」

人間は道徳的存在であるという希望

基本的人権を保障する

―障害者権利条約の批准―

―東部地域療育センターの開設―

日本国憲法では、「国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられ」としている。この権利は、人類の幾多の戦争等の苦悩や試練から多年にわたる努力の成果として世界中に広がった権利であり、まさに永久の権利であると思う。国連では、あらゆる障害者の尊厳と権利を保障するための人権条約として、二〇〇六年十二月、「障害者権利条約」を採択。日本では、昨年十二月、国内法が整備されや々と批准に至った。七年が経過したが、この条約に国が拘束されるものであり、歓迎したい。

事業所紹介

発達センター部

●南部地域療育センターそよ風

●愛育診療所

●デイサービス A C T

●デイサービス みどり

●児童発達支援事業所みどりそよ風

●障害児相談支援事業所そよ風

●発達センターあつた

●デイサービスあつた

●障害児相談支援事業所あつた

●発達センターちよだ

●デイサービスちよだ

●障害児相談支援事業所ちよだ

支援センター部

●活動センターねーぶる

●ヘルパーステーションぴぽっと

●ショートステイぴぽっと

●ぴぽっと相談支援事業所

●ホーム社会館

●のどか・うらら・天歩

●しゃかいかん・いっば

●社会館障害者基幹相談支援センター

コミュニケーション部

ケアセンター部

●菜の花保育園

●子育て支援センターなのはな

●名古屋のびのび

●子育てサポート事業南支部

●みどり菜の花保育園

●名南ユースセンター A C T

●ちどり児童会

●デイサービス友

●デイサービス愛

●社会館居宅介護支援事業所

●配食サービスゆうの里

名古屋キリスト教社会館の使命

名古屋キリスト教社会館は、創立の精神に基づき、次の使命を担います。

1. すべての人々がかけがえのない存在として人権が保障され、自立した人間として成長していける社会を築くことをめざします。
2. 隣人とのあい、ふれあい、そだちあいを大切に、ともに地域の課題を担うことを通して福祉の輪が広がるように努めます。
3. 世界の人々との交わりを通して、福祉社会の実現のために働きます。

「わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償うけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。」

ヨハネの手紙Ⅰ、四章十節

新年度を迎え、今年は東部地域療育センターの新しい事業が始まります。すべての事業所も新入・異動の職員の方々と共にまさに新しい関係作りが始まります。

ここで今一度、社会館の設立の精神であるキリスト教とは何かを考えたいと思います。キリスト教と聞いて何が思い浮かぶでしょうか。「教会」「十字架」「神は愛なり」「アーメン」「信じる者は救われる」等々。象徴としてはやはり十字架ではないでしょうか。実際にキリスト教会をはじめ、キリスト教主義の学校、病院、施設の多くにも十字架が掲げてあります。十字架はギリシャ・ローマの磔刑の道具でした。処刑のための十字架がキリスト教のシンボルとなっているのは、まさにイエス様が十字架で処刑されたからです。そしてこの十字架に神様の愛が現されているからです。十字架は縦と横の二本の木が合わさった形をしています。この形そのものがキリスト教の要である十字架の意味を良く表しています。昨今はファッションで十字架のネックレスなどを身に着ける方が多いようです。この真理を知って身に着けていただければなんと幸いなことでしょうか。

まず十字架の縦の木です。ここに神様と人との関係とみることでできます。神様はすべての人を愛して、独り子イエス様を救い主としてこの世界にお遣わしになりました。

そして十字架の横の木です。ここに人と人との関係をみることでできます。神様に愛されている者として、人は隣人を愛する関係をもつことができるということです。

まさにイエス様はその生涯を



「ここに愛があります」

通して、神と人との、人と人との失われた関係を回復されました。神の国の到来を告げ、真の悔い改めにより、神に愛されている者として生きること、すなわち神を愛し、隣人を愛する生き方を説いたのです。それは決して高みからの教えではなく、むしろローマの支配のもと、貧しく苦しい生活を送る人々に寄り添い、病や差別に悩む一人ひとりに暖かいまなざしをもって、それぞれの必要に応えられたの

です。その愛は自分を十字架につけ、殺そうとする者のために祈る、敵をも愛する愛でありました。

社会館がスローガンとして掲げている言葉、「であい、ふれ

あい、そだちあい」の土台にこの神様の愛が注がれていることを改めて心に刻みたいと思います。そして社会館に関わってくださっているすべての方々との精神を分かち合いたいと願います。わたしたち一人ひとりとは神様に愛されている尊い存在です。しかしわたしの愛には限り

があり、偏りがあります。どこまでも自分の都合でしか人を愛せないからです。けれども神様の愛から出発するとき、このわたしの愛が変えられるのです。自分中心の愛から、隣人を自分のように愛する愛、すなわち、今日出会うお一人おひとりとの関わりを大切にしていくことができます。

「愛する者たち、互いに愛し合いましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです。」

ヨハネの手紙Ⅰ、四章七節

主事・チャブレン

杉本美由紀



テーマ

人権を守る社会福祉の専門家として、

実践し、学び、育ち合おう

私たちの社会福祉法人は、一九五九年の伊勢湾台風による大災害の救援活動に取り組んだキリスト教関係者の粘り強い持続的活動、地域の人々の声に耳を傾けた活動、一緒に考えながらニーズに応えた活動から産み出されました。その歴史を受け継ぎながら創立五十四年目を迎え、非常勤職員も加えると三〇〇名を超える大きな組織となりました。事業内容も子どもから高齢者分野まで、障害児から障害者分野までと広がりつつ、幅広く「地域福祉」を追究する社会福祉法人として成長してきました。

東日本大震災・福島原発事故から三年。この間、私たちは、新自由主義という経済の論理、市場原理・成果主義に翻弄されています。「いのち」を支える豊かさを奪われ、希望を失いあえぐ人々が増える日本社会において、私たちキリスト教精神に基づく社会福祉法人の役割が問われています。それは、「基本的人権の保障」武力の行使を放棄する(第九条)という「平和観」を宣言した「日本国憲法」を基軸として働くことではないでしょうか。これは、私たちのエネルギー源であり、希望です。

私たち名古屋キリスト教社会館は、キリスト教精神に基づく社会福祉実践、同時に、日本国憲法が指し示す「平和」と「基本的人権の保障」、「子どもの権利条約」、「障害者権利条約」が指し示す社会福祉実践に向けた努力することが働き甲斐なるように、運営を進めます。こうして、日本の中で、より良い「社会福祉」を築いていく役割を果たしたいと思います。

二〇一四年度は、以下の方針を掲げて事業を進めます。

- 一、「基本的人権」(特には、平等権・生存権・表現の自由)を保障することを基軸にして事業を実践する。
- 二、その実践を学び合い、社会福祉の専門家として育ちあえるように「法人職員を育てる研修計画案」「管理職研修案」を作成し、研修をすすめる。
- 三、新たに「東部地域療育センター」事業を開設し、順調に進める。
- 四、新たに、コンソーシアム形式による「基幹相談支援センター」事業を開設し、順調に進める。
- 五、第四次将来計画構想に基づき、各事業の短期計画・運営のあり方を検討する。
- 六、「総合福祉センター西館建設計画」の「建設委員会」を設置し、計画の具体化と建設準備をすすめる。
- 六、キリスト教精神と現場実践をつなぎ、チャブレン業務(現場に在籍する牧師職)を確立する。
- 七、社会福祉法人として、事業の公益性を高めつつ事務局機能の向上と経営基盤の充実に努力する。
- 八、「福祉ニーズ」を持つ当事者と共に歩むことを基本としている各事業所及び、理事・評議員・地域・関係者とのネットワークづくり、行政との協働に心がけて福祉事業の向上に努める。
- 九、社会福祉法人としての責任を果たすべく、第三者評価機関による「第三者評価」を受ける。
- 十、東日本大震災の支援活動及び独自の防災対策活動を行う。
- 十一、原発に頼らない社会をめざす取り組みと運動に協働する。

(文責 湧井 規子)



南区障害者基幹相談支援センターの開設に向けて

平成二十六年四月から、「南区障害者基幹相談支援センター」以下「センター」というを開始します。このセンターは、三障害の総合相談窓口として、各区一か所設置され、南区では、名古屋キリスト教社会館、ニコニコハウス、親愛の里の三法人がコンソーシアム（共同運営）で行っていきます。（下記参照）

南区基幹相談支援センターの大きな役割としては、三障害対象のワンストップ相談窓口となります。相談者の方がどこに相談したらいいかわからないように丁寧に受け止め、必要な各機関と連携していくことを目標としています。また、自立支援協議会等の地域環境作り、関係機関とのネットワーク作りといった今まで同様の役割に加え、障害者虐待防止の相談、退院や退所する方の地域移行・地域定着支援、困難事例の相談支援、人材育成（相談支援事業者へのバックアップ）等を行っていきます。

名古屋市中でも南区は特定相談支援事業所が多い地域です。それでも、計画作成の事業所や相談員が不足していて、一人の相談支援専門員が一〇〇件近くの相談を抱えている事業所も少なくありません。その現状に加え、来年度からは出来高優先の報酬システムに変更することが名古屋市から提案されており、一二〇件以上の計画を作らないと事業所の運営が難しくなるシステムになります。そのように厳しい状況ではありますが、一人ひとりの相談員が利用者さんのニーズをしっかり受け止めて、南区を障害のある方たちにとって住みやすいの町にしていこうとチームで研鑽しあう事が大切になつていきます。センターでは、今後も特定相談支援事業所を支えながら連携をしっかりととり、「地域で当たり前に暮らす」という思いを支えるべく、地域の基盤整備を行っていききたいと思います。

二〇一四年四月から下記の場所で、相談支援センターを運営していくこととなります。今後ともよろしくお願い致します。

〔南区障害者基幹相談支援センター〕本部
南区寺部通三―八―一
レオテクノビル三階
電話 八二二―三〇〇―
FAX 七四六―〇八七〇
サテライト
南区西桜町三一
電話 八八三―九二五七
FAX 八八三―九二五九
クオレ（地域活動支援センター）
電話 八八三―九二五八
FAX 八八三―九二五九

（文責）
南区障害者基幹相談支援センター
相談支援専門員 林 美樹

地域であたりまえに暮らす

避難訓練を行いました！

要町のバス停の西隣にある社会館生活支援センターは、三階の南側にはケアホームが、南側にはショートステイの施設が入っています。ケアホームには五人の障がいのある方が暮らしていて、夜勤者は一名。ショートステイでは障がいのある方が最大三名宿泊し、夜勤者は一―二名です。夜間火事や災害が起こったときは八名の利用者さんの避難誘導を職員二名で行うことになりました。

先日消防職員の方に来ていただき、火事だという想定で避難訓練を実施しました。車いすの方や、階段の上り下りが苦手な利用者さんがいらつしやう、その方たちを落ち着いて、しかも素早く・安全に避難誘導を行う難しさを改めて感じました。

東海地方は南海トラフ大地震がいつ来てもおかしくな

ねーぶる「てくワーク」 地域の方々に支えられて

てくてくグループでは、アルミ缶を回収して潰し、潰した缶を金属工場に持って行ってお金に換金する「てくワーク」という作業を行っています。アルミ缶は、週に一回、七名のメンバーとスタッフが、地域のお宅を、チームに分かれて周り回収しています。また、施設まで届けてくださるお宅もあります。開始当初は数軒だったお宅が、紹介を頂いたり、回収中に「うちの缶もお願いします」と声をかけて頂いたり、今では十数軒となりました。メンバーたちは、それぞれの力でアルミ缶回収に挑みます。移動は車いすでも、回収のお宅の手前からは歩いて玄関に辿り着き、自分の力で缶を受取ります。「ここからは自分一人！」とスタッフの手を離し、少し長い距離を一人で向かい、仕事をやりきる達成感があります。缶が

ホームのどかで暮らすAさん

ホームのどかが天白町に越してきて八年が経ち、ホームで暮らす仲間たちの生活も落ち着いてきました。障害の重い仲間たちがそれぞれ好きなことや楽しみたいことを生活の中で見つけています。

Aさんは移動に車イスを使っていますが、身体を動かすことがとても好きな方です。プールでの取り組みをしていこうと東海市しあわせ村の温水プールやそよ風のアクアエクササイズ（水泳教室）に通い、元氣な身体作りをしてきました。

ホームの中でも入浴後にボディブレイキング（体操）を行なってきましたが、ホームとは違う場所でも身体を動かす楽しさを見つけていきたいと思い、昨年からガインプラザのトレーニング室に通い始めました。スペースの一角でマットを敷き、付き添いのスタッフと身体を動か

いと言われている。要町周辺の町内会でも防災についての学習会や防災訓練が行われていて、社会館の職員や利用者さんも参加させていただいています。障がいのある人も高齢者も子どもたちも。みんなが災害から命を守ることでできる街づくりを一緒に考えていきたいと思っています。



最後に、びぼっとの建物の北側には非常用の外階段があり、屋上に出られるようになっていいます。津波避難ビルの指定も受けておりますので、もしもの時はご利用ください。

（今関 和美）

無くて残念な思いをすることもありますが、それは次への活力です。家の方や行き交う方との交流に心ときめきます。地域の方々の支えがあるからこそ、てくワークが



回収のお宅に、てく畑で獲れた大根をお裾分け...

成立ち、メンバーの喜びが広がっています。心より感謝しています。

（安藤 裕子）



しています。最近では他のホームの仲間も誘って一緒に行くなど、トレーニング室が活動の場となり、そこで運動するという生活に変わっていききました。

このようにAさんは地域の社会資源を利用することでこの地域での暮らしをゆたかなものにしていくことができます。これからもAさんらしい生活づくりにつながれたらと思います。

（土肥 悟）

TEL 613-3341
FAX 746-0874

TEL 611-0707
FAX 746-0869

TEL 613-1306
FAX 746-0873



ホーム社会館



活動センター
ねーぶる



ヘルパーステーション
びぼっと

名古屋キリスト教社会館後援会からのお知らせ

名古屋キリスト教社会館の働きを支え、自らも有意義で楽しい活動をすすめる独自組織が、「名古屋キリスト教社会館後援会」です。まだご入会されていない方は、是非この機会に、後援会にご入会いただき、共に名古屋キリスト教社会館のこれからの50年をお支え下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

会 長 岡村 恒義

年会費 1,000円

2014年度定期総会のご案内

- と き：2014年5月24日（土）午前10時～午後1時30分
- ところ：日本ガイシフォーラム第1・2会議室
- 内 容：午前～ 学びの企画
 テーマ：子どもの発達と描く活動（仮題）
 講 師：新見俊昌氏（大阪保育研究所）
 正午～ みんなで会食
 ※文化を楽しむ企画／ジャズライブ
 午後1時～ 定期総会（事業報告・決算、事業計画・予算など）

ありがとうございました

アンサリー・クリスマスチャリティーコンサート

去る12/21、金山の日本特殊陶業市民会館にて開催されました。

700名が入場した会場はアンさんの楽曲に包まれ和やかな雰囲気となりました。子ども会場には50名を超える子どもたちが多くのボランティアさんと楽しくあそんでいました。チケット購入、協賛広告などにご協力いただいた皆様、また実行委員として支えてくださった皆様に深く感謝いたします。約200万円を東部地域療育センター建設募金にさせていただきます。

献金・協賛報告

ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。（敬称略・順不同）
 （クリスマス献金）

愛知聖ルカ教会、熱田教会めぐみ会、活けるキリスト一麦教会、岩田悦、江川孝志、大島和海、加藤孝一、株式会社すが設備サービス名古屋支店、川口誠・京子、工川謙治、近藤幹夫、坂倉由紀、鈴木侯子、須田桂子、瀬戸聖書バプテスマ教会、高橋榮一、田中真由美、田村富士雄、土屋徹子、名古屋YWCA、名古屋新生教会、名古屋聖ステパノ教会、名古屋西キリストの教会、日本キリスト教会、名東教会、日本基督教団、赤池教会、日本基督教団、春日井教会、日本基督教団、御器所教会、日本キリスト教団、豊田教会、日本キリスト教団、広路教会、川百合子、松山良、見松梨絵
 （一般寄付）
 岩田悦、学校法人 名古屋学院、工川謙治、久保田啓、鈴木侯子、高橋榮一、高山直樹、寺川八重子、寺田仁計、名古屋聖マタイ教会、日本キリスト改革派八事教会、日本キリスト教団、刈谷教会、藤沢光子
 （ちどり児童会指定寄付）
 恒川修
 （西館指定寄付）
 近藤直子、小早川弘江

（みどり菜の花指定寄付）

岡村恒義

（そよ風指定寄付）

有田浩明、名古屋ロータリークラブ

（デイサービス友指定寄付）

松原真奈美

（デイサービス愛指定寄付）

松原真奈美

（東日本大震災支援活動のための寄付）

恒川修

（東部地域療育センター指定寄付）

あいち小児保健医療総合センター、伊藤香世、浅野美子、あつた有志、天野香明、荒岡富美、荒竹ひろみ、アンサリーコンサート実行委員会、有志、安藤十糸子、石井菜美、石川雅之、石村唯彦、磯貝勝則、一宮理恵、伊藤久美、伊藤慎也、伊藤輝人、江口尚美、大島和海、大塚智子、大矢拓司、大矢俊信、岡田敏男、岡田雅子、岡村恒義、小川ちはる、小川義雄、沖田尚毅、織田尚代、小山ゆり、寛美智子、相本多恵子、加藤淳、金森千佳、蟹江範子・早紀、神谷恭子、神谷雅志、亀井美和、川口桂子、川口誠・京子、木村蓉子、金城学院幼稚園、工川謙治、久保雅子、久保田啓、熊井利恵、熊田光安、児玉美会子、後藤明子、後藤明和、小早川弘江、小林志ほ、近藤克輔、近藤すゑ子、近藤直子、近藤宏、近藤幹夫、齋藤襄、在日米商工会議所、中部支部、坂口政広、佐方希与子、坂野雅世、佐藤明裕、佐藤楓真、佐藤公司、里中瑞穂、三大寺あづみ、支援センター一部職員一同、実現

東部地域療育センターいよいよオープン！

わくわくフェスタ
inメタセコイア

2014年4月29日(火・祝)
10:30～14:30 少雨決行
メタセコイア広場にて
(名古屋市千種区平和公園3-3081)

2014年6月、千種区猫洞堀に東部地域療育センターがオープンします。
東部地域療育センターは子育ての不安を気軽に相談できる場所です。
今回のイベントは療育センターオープン、地域の皆様を知っていただけたらと企画しました。
ぜひ、お誘いあわせの上、お出かけください。

おいしいお店が
いっぱい！

ミニSL・起震車

コアラッチ
ジージョくんがくるよ！

ステージイベント

熱鼓の会(和太鼓演奏)

西春吹奏楽団

フリーヒルズ
ジャズオーケストラ

合唱アマービレ

ハーノウナリーブアレイイマ
(フラダンス)

かそくみんなで
あそびにきてね！

フリーマーケット
出店者募集中！

子どもコーナー

チャリティウォーク
&ラン

主催：わくわくフェスタinメタセコイア実行委員会
イベントのお問い合わせ 発達センターちよだ (052)792-7277

金子 豊子様 ご逝去のお知らせ

創設のきっかけとなった伊勢湾台風時の託児事業の場を提供、その後も、長年にわたって社会館をお支え下さった金子様でしたが、本年1月26日、94歳の生涯を閉じられました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げるとともに、生前のご支援に心より感謝を申し上げます。
 (法人事務局)

編集後記

新しい年度が始まった。東部地域療育センターの運営を6月からスタートさせるにあたり、その名称が検討されている。次号ではお知らせしている。そして社会館が関わる地

域がさらに拡大する。新しい名称が地域の中で親しまれていくように、今号の支援部のように、地域にしっかり根を下ろした歩みを進めたい。
 (A・S)

苦情申し出の窓口

苦情の申し出窓口は、各事業所掲示板等に掲示しています。苦情受付けは主任、解決者は事業所長が基本です。

法人への苦情は、
本部事務局
612-3370
へお願いします。

また、法人職員ではなく、第三者の立場として苦情を受け、より良い解決へと導く立場の者として、第三者委員を選任しています。

第三者委員は、
仲田 伸輝 821-0570
小林 冴子 611-0401

お手軽
お料理教室

豆腐の野菜あんかけ

彩鮮やかな春野菜で毎日の食卓をカラフルに！！

豆腐のやさしい味は和風・洋風・中華なんでも合います！また、旬の野菜で季節を感じましょう。おろし生姜の風味は減塩効果がありますよ！

材 料 (1人分)

豆腐 …………… 1/3丁
 醤油 …………… 小さじ1
 砂糖 …………… 小さじ1/2
 塩 …………… 少々
 だし汁 …………… 40g
 もやし …………… 10g
 アスパラガス …… 1/4本
 筍(水煮) …………… 10g
 人参 …………… 7g
 干し椎茸 …… 1/2個
 油 …………… 2g
 片栗粉 …………… 少々
 おろし生姜 …………… 2g

〈作り方〉

- ① 豆腐を調味料で煮る。皿に盛り付ける。
- ② 干し椎茸、人参、アスパラをせん切りにする。
- ③ 小鍋に油を温め、②ともやしを炒める。
- ④ ①の煮汁を③に加え、野菜に火を通す。
- ⑤ 水溶き片栗粉でとろみをつける。
- ⑥ 豆腐の上から野菜あんかけをかけ、おろし生姜を天盛りにする。

〈ポイント〉

- ・豆腐は食物繊維がほとんどないので、野菜を合わせて補うことがおすすめです。
- ・野菜は、季節に合わせて旬のものをどうぞ。

(発達センターあつた 栄養士 小林みずほ)